

鹿児島地方気象台と鹿児島大学地域防災教育研究センターとの包括連携に関する協定

- 1 背景** ①台風や線状降水帯など大雨による自然災害の頻発化・激甚化
②大規模地震や桜島をはじめとする火山の大規模噴火の発生を危惧
③①、②から自然災害に関する調査研究能力の向上や、県民一人一人の災害への備えの充実が不可欠



- 2 目的** 自然災害から県民の生命や財産を守り、防災・減災に貢献できるよう、両機関が連携しながら、それぞれの資源、人材、技術や機能の活用を図り、調査研究及び防災教育等を促進し、地域防災力を強化

- 3 連携内容** ①鹿児島県内の気象、地震津波・火山等による自然災害に関する調査、研究
②地域ニーズを踏まえた講演会、シンポジウム、ワークショップ及び出前授業などの防災教育
③その他、両機関が協議して必要と認める事項

【連携の内容と効果】

- (1)ドローンを活用した火山調査・突風調査

ドローン講習会



- (2)鹿児島大学の授業

防災学の授業



教育学部でWS



- (3)センター主催のシンポジウム等

シンポジウムでWS



セミナーで講演



- (4)民間主催の小中高校生を対象としたWS

AR浸水体験



大雨防災WS



- (5)地域ニーズを踏まえた講演会・WS

自治体の相談（一緒に）



中之島で講演



(1)現象解明の高度化、(2)地域防災の普及啓発の担い手の育成、(3)～(5)地域防災力の向上

- 4 今後の流れ** 毎年度、両機関でそれぞれニーズ調査を行い、可能な事項から取り組んでいく。